



KAKEHASHI Project（招へいプログラム） （対象国：米国, 一般交流(大学生)）の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、米国より大学生・大学院生 47 名が来日し、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、平成 28 年 1 月 7 日から 1 月 14 日までの 7 泊 8 日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

米国 47 名

3. 訪問地

東京都、宮城県

4. 日程

- 1 月 7 日（木） 成田国際空港より入国
- 1 月 8 日（金） 来日時オリエンテーション
【日本の外交政策に関する講義】外務省北米局
【文化視察】江戸東京博物館、浅草
- 1 月 9 日（土） 東京都から宮城県へ移動
【表敬・地域概要講義・交流】大崎市、ホームステイ
- 1 月 10 日（日） ホームステイ
- 1 月 11 日（月） ホームステイ 歓送会
【文化体験・視察】こけし絵付け体験、化女沼まがん視察
- 1 月 12 日（火） 【学校交流】東北大学
ワークショップ（報告会準備）
- 1 月 13 日（水） 宮城県から東京都へ移動
報告会（訪日成果・帰国後活動計画発表）、【文化視察】秋葉原
- 1 月 14 日（木） 【文化視察】明治神宮、原宿
成田国際空港より出国

5. KAKEHASHI Project プログラム記録写真
 (米国, 一般交流(大学生)) 訪日団第5陣の記録



1/8 【文化視察】江戸東京博物館(東京都墨田区)



1/9 【表敬・地域概要講義】大崎市(大崎市)



1/10 【交流】ホームステイ(大崎市)



1/11【文化体験】こけし絵付け 体験(大崎市)



1/12【学校交流】東北大学(仙台市)



1/13 報告会(東京都千代田区)

6. 参加者の感想

◆ アメリカ 大学生

私が特に強い印象を受けたのは、日本の人々がいかに自分達の文化を外国人にわかってもらおうとしているかということです。文化交流というのは両方の国の人々が全く違う文化を受け入れることができる柔軟性を持っていなければならない、大変難しいものです。文化を伝えようとする側は広い心を持ってそれを行わなければならない、また受ける側はその文化について検討し、そして体験するための柔軟な心を持っていなければならない。この点では日本人は信じられないほど広い心を持っていると確信することができました。ホームステイを受け入れ、東北大学は日本人学生との交流を受け入れてくれました。そのおかげで私たちは日本の文化にどっぷりと浸ることができました。これほど多くのことを学ぶには学校で専門的に学ぶしかないでしょう。この KAKEHASHI プロジェクトはその名が示す通り、違うふたつの文化の間に理解という橋をかけるすばらしい役目を果たしてくれました。今回会った日本の人々は私が日本人に対して持っている、暖かく寛大で、全く違うふたつの文化の間の溝を埋めようとしているというイメージが間違っていなかったということを実証してくれました。帰国後は私が受けたこの印象を多くの人に伝えたいと思います。

◆ アメリカ 大学生

数日間の滞在で最も印象深かったのは日本人の礼儀正しさと親切さです。また宮城県大崎市、特に鳴子温泉の山々や雪景色の美しさも印象に残っています。さらにとっても印象的だったのは日本でのお客様に対するサービスのすばらしさです。これは世界でもトップレベルでしょう。特に私が興味を持ったのは支払いの時にお金を受け取ると、いくら受け取ったのかをきちんと繰り返して確認するところです。そして、ホームステイはすばらしい経験でした。日本の人々がいかに歓迎してくれ、親切にしてくれたかを思い出すたびに幸せな気持ちになります。彼らの親切に何かお返しできたのではないかと今は考えています。私を受け入れたことにホストファミリーが満足してくれたのかどうかわかりませんが、私は沢山お話をすることが出来、とても楽しい時間を過ごすことができました。もしまた宮城県を訪れることがあったら、ホストファミリーを訪ね、今度はしっかりと御恩を返したいと思っています。ホームステイ中には文化だけではなく 2011 年の津波によって大きな被害を受けた石巻の当時の状況とその後の復興についても学ぶことができました。そして松島ではその多くの点在する島々によって津波の被害が低減されたということも学ぶことができました。

◆ アメリカ 大学生

もっとも印象的なことは日本人の我慢強さと精神面における強さです。日本人は親切で友好的な国民とメディアを通して聞いていました。ホストファミリーが松島につれて行ってくださいました。松島は 2011 年の津波で大きな被害を受けたところです。私はその悲惨な状況が残っていると思っていたのですが、実際には津波の痕跡は幾分残ってはいたものの、殆ど見当たらず観光地には人がいっぱいいました。人々は津波の被害にも負けずエネルギーで、暖かさにあふれていました。日本の復興を見たことで私自信の気持ちが強くなりました。国際社会への影響力を見るとさらに気持ちが強くなりました。日本で出会った人々の強さの半分でも自分に欲しいと思いました。帰国して友人や家族に伝えたいことは、人々の強靱な精神力です。日本で過ごした時間は忘れられないものになりました。数日で帰国すると思うと涙がこみ上げてきます。日本についてアメリカで人々に話し続けることを目標にしています。そしていつの日か再訪したいと考えています。

◆ アメリカ 大学生

私の日本における時間は驚きと心地よさの連続でした。アジア系のバックグラウンドなので日本の食べ物、生活様式、などにはそんなに驚くことはありませんでした。しかしながら伝統的な建造物や田舎の自然の風景には息をのみました。素晴らしかったです。日本の人々に強い印象と感動を持ちました。そして日本人は科学技術の中において伝統文化を保存しようとするような努力を試みて来たのか、などと考えました。通りや街にはゴミ一つ落ちていませんでした。人々は常に謙虚で感じが良く、いつも歓迎していただいていると感じました。ホームステイは素晴らしい経験になりました。手料理をいただき日本式のお風呂に入りました。日本滞在は素晴らしい経験であり、日本について、日本語について、日本人について学べた時間でした。

7. 参加者の帰国後の発信内容

Project UNITE U University events N News outlets I International organization presentations T Technological outreach E Educational promotion	Conclusion 1 Views on Japan: before and after 2 Talking points & takeaways 3 Proposed course of action																																			
A グループ ジョン・ホプキンス大学	A グループ ジョン・ホプキンス大学																																			
ACTION PLAN ○ WHAT WE'LL DO ○ Relay experience to family/friends using pictures, videos, stories, omiyage ○ Visit local high school and present about the trip ○ Present to University Of Maryland students about the trip ○ Create group Facebook page to discuss the trip ○ Continuing studying the Japanese language ○ Stay connected to the Kakehashi program and promote its mission ○ Return to Japan ☺ ○ Host Japanese students ○ Connect with JAS and JICC	Action Plan <table><tr><th>WHY</th><th>WHEN</th><th>WHO</th><th>WHOM</th><th>WHAT AND HOW</th></tr><tr><td>Deconstruct misconceptions and fears such as, "I can't get around because I can't speak Japanese!"</td><td>Social Media: Before School Starts Presentations: First few weeks of class</td><td>Each student will use social media to polish pictures and experiences</td><td>Other students in the Japanese program</td><td>Posts on Facebook A video travel diary in YouTube</td></tr><tr><td>"The food is too weird!"</td><td>Panel: A month or two after school starts (after study abroad session)</td><td>Each student will also engage fellow students through</td><td>Students who have taken other Japan-related courses</td><td>An online illustrated story book posted on Wordpress</td></tr><tr><td>"It's too expensive!"</td><td></td><td></td><td>Japan Club</td><td></td></tr><tr><td>In order to facilitate tourism and studying abroad in Japan.</td><td></td><td></td><td>Other students who might be interested from a study abroad session</td><td>Presentations to Japanese classes and residential communities</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>Family and friends</td><td>A presentation and Q&A panel to the entire university community.</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>Bloggers</td><td></td></tr></table>	WHY	WHEN	WHO	WHOM	WHAT AND HOW	Deconstruct misconceptions and fears such as, "I can't get around because I can't speak Japanese!"	Social Media: Before School Starts Presentations: First few weeks of class	Each student will use social media to polish pictures and experiences	Other students in the Japanese program	Posts on Facebook A video travel diary in YouTube	"The food is too weird!"	Panel: A month or two after school starts (after study abroad session)	Each student will also engage fellow students through	Students who have taken other Japan-related courses	An online illustrated story book posted on Wordpress	"It's too expensive!"			Japan Club		In order to facilitate tourism and studying abroad in Japan.			Other students who might be interested from a study abroad session	Presentations to Japanese classes and residential communities				Family and friends	A presentation and Q&A panel to the entire university community.				Bloggers	
WHY	WHEN	WHO	WHOM	WHAT AND HOW																																
Deconstruct misconceptions and fears such as, "I can't get around because I can't speak Japanese!"	Social Media: Before School Starts Presentations: First few weeks of class	Each student will use social media to polish pictures and experiences	Other students in the Japanese program	Posts on Facebook A video travel diary in YouTube																																
"The food is too weird!"	Panel: A month or two after school starts (after study abroad session)	Each student will also engage fellow students through	Students who have taken other Japan-related courses	An online illustrated story book posted on Wordpress																																
"It's too expensive!"			Japan Club																																	
In order to facilitate tourism and studying abroad in Japan.			Other students who might be interested from a study abroad session	Presentations to Japanese classes and residential communities																																
			Family and friends	A presentation and Q&A panel to the entire university community.																																
			Bloggers																																	
A グループ メリーランド大学カレッジパーク校	B グループ バージニア大学																																			
After Japan School Presentations Blog posts and other forms of social media Sustained contact with homestay families Reach out to Keio U. international students at W&M																																				